

エボがエボであり続けるために

「若い技術者が創りたい車を、そのまま提供していきたい」——。これが、私の基本理念でした。

コンセプト作りから始まり、商品構想、設計構想から具体的な計画まで、若い技術者達が真剣に討議し作り上げてくれました。プロジェクトマネージャーとして大きなベクトル修正が必要な時は口を挟みましたが、技術者魂が細部まで行き渡り、溶接長さまでこだわった車に仕上げる事ができました。只のこだわりだけでなく随所に進化が体感できる様に、また、どなたも安全に、安心して運転を楽しんでいただける様にもしました。

「モータースポーツで培った技術のフィードバックは何ですか?」と、よく質問を受けますが、「この車〈すべて〉がフィードバック」、

と答えるようにしています。初代ランサーエボリューションは、WRCで勝つための戦闘車両として進化してきましたから、そのままモータースポーツに参加することが可能でした。このコンセプトは今回のエボにも受け継がれています。

ツインクラッチSSTは、新たなドライビングプレジャーを提供する大きな進化ですが、軽量・高強度で細かいチューニングを盛り込んだマニュアルミッションも用意しています。スパッと入るギヤチェンジ、狙いとりのライン取り、常に安定した姿勢を保ったコーナリング等、今まで味わったことのないスポーティドライビングを堪能いただけると確信しています。

若いエンジニアのメッセージが伝わることを願っています。

C-seg商品開発プロジェクト
プロジェクトマネージャー
岩田秀之



その進化は、
一瞬で時代を抜き去る。

